

東日本大震災により

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

白河市議会

これまでの経過

3月11日午後2時46分の地震発生時は、4階議場において、総括質疑・本会議中でありました。

この日は、市内中学校の卒業式が午前中に行われ、午後2時からの開議でした。

突然の強い揺れが襲い、天井の排気口は落ちそうになり、立つこともままならぬ事態でした。

議長より散会を宣告後、庁舎正面玄関前の広場に退避し、議員は各地域の被災状況等情報を収集することで解散しました。

同日夕方、各議員から地域の被災状況が報告され、甚大な被害であることや今後の議会の取り組み・連絡方法を確認しました。

市議会は、東日本大震災災害対策を優先するため、常任委員会付託を省略するなど、3月定例会の会期を10日間短縮し、3月14日に閉会しました。

同日、議長を本部長、副議長を副本部長とする「白河市議会災害対策本部」を設置し、

議員が地域活動において収集した情報等は、本部を通して執行部に伝達することを各派代表者会議及び全議員で確認しました。

また、3月29日(火)には、友好都市の埼玉県戸田市議会の伊東秀浩議長、鈴木麗子副議長が来訪され、十文字市議長に戸田市議会議員皆様からの義援金30万円が手渡されました。

戸田市においても、震度5強の地震により、議場の天井や壁などを含め、市庁舎全体が損傷し、ガソリン等の物資が不足している状況にあるとのことでした。

小峰城等の被災箇所や非常用飲料水貯水槽を視察後、鈴木市長を表敬訪問しました。

被災された皆様方へ

この度は、東日本大震災により、想像を絶する甚大な災害を受け、多くの尊い人命と財産が奪われましたことに対し、心より哀悼の意を表するとともにお見舞いを申し上げます。

特に、当市では12名の犠牲

者が出たことはまことに残念なことであります。

また、この震災は、当市にとっては地震、津波のほか原発事故による風評被害を受けるなど、厳しい状況に対し憤りを覚えずにはいられません。

このような中、議会といたしても「市議会災害復興支援対策本部」を設置し、関係機関と連携のもと、一日も早い災害復旧、復興を目指し、白河市民が安全安心して暮らせるまちづくりのため、議員一丸となり議会活動に取り組みでまいりますので、より一層のご支援をお願いします。

また、今回の災害に際して、当市との友好市であります三重県桑名市議会、埼玉県行田市議会、戸田市議会の皆様方を初め各市より物心両面にわたるご支援、ご協力を賜りましたことに感謝を申し上げます。

白河市議会議長

十文字 忠一



戸田市議会を代表して伊東秀浩議長、鈴木麗子副議長から義援金を手渡されました。



鈴木市長を表敬訪問し、両市は友好をさらに深めていくことを確認しました。

市議会議員選挙の延期について

東日本大震災に伴い統一地方選を延期する臨時特例法案が成立しました。

当市議会議員選挙も総務省から指定を受け、臨時特例法施行日から起算して二カ月から六カ月の範囲で延期されることになりましたが、4月21日現在では実施日は確定されていません。

このため市議会としては、法の趣旨に鑑み、災害復興を優先する見地から、特例期間内の議会構成（役職等）を現状維持とすることにしました。

市議会災害復興支援対策本部の設置

「市議会災害対策本部」は、所期の目的を果たしたため、3月25日に解散しましたが、災害復興支援に関する情報収集・調査を行い、執行部への情報伝達を行う機関として、4月1日より「市議会災害復興支援対策本部」を立ち上げました。設置場所は、議会事務局内とし、議員が輪番により本部詰めを行います。

なお、市議会災害対策本部を通して執行部に情報提供等は、3月11日から25日までの12日間で56件となりました。



白河市議会災害復興支援対策本部立ち上げ等について協議する各派代表者。



会期を短縮し、23年度各会計予算等を可決し、3月定例会を閉会しました。



十文字議長は、戸田市伊東議長と鈴木副議長を小峰城石垣崩落現場に案内し、状況の説明をしました。



本市が災害時の重要な備えとして設置した非常用飲料水貯水水槽を視察。



総合運動公園多目的広場に建設中の仮設住宅（4月13日撮影）